

平成28年度

自己点検・自己評価
学校関係者評価

報告書

学校法人 トヨタ神戸整備学園
専門学校

トヨタ神戸自動車大学校

【評価委員】

氏名(敬称略)	会社	部署・役職
村上 尚史	トヨタ自動車(株)	国内サービス部 係長
三宅 敏文	兵庫トヨタ自動車(株)	総務部人材育成グループ 課長
平 勝治	神戸トヨペット(株)	営業本部技術グループ 係長
小林 弘章	トヨタカローラ姫路(株)	しらさぎ店 エンジニアリーダー
中川 幸士	ネッツトヨタ兵庫(株)	サービス営業部 係長

〔任期〕平成28年4月1日～平成29年3月31日

【学校側出席者】

氏名	部署・役職	氏名	部署・役職
大塚 生介	理事・校長	杉原 徹	自動車整備科第1教育室 室長
山口 裕行	理事・教育部長	長澤 哲也	自動車整備科第2教育室 室長
北村 豪久	学生部 部長代理	谷川 嘉夫	高度自動車科教育室 室長
大田 英一	総務部次長		

<事務局> 秋山史彦 (総務部主査)

目 次

1-1 理念・目的・育成人材像.....	1
1-2 学校の特徴.....	3
1-3 学校の将来構想.....	4
2-2 運営方針.....	5
2-3 事業計画.....	6
2-4 運営組織.....	7
2-6 意思決定システム.....	9
2-7 情報システム化.....	10
3-8 目標の設定.....	11
3-9 教育方法・評価等.....	13
3-10 成績評価・単位認定等.....	15
3-11 資格・免許取得の指導体制.....	16
3-12 教員・教員組織.....	17
4-13 就職率.....	19
4-14 資格・免許の取得率.....	20
4-15 卒業生の社会的評価.....	21
5-16 就職等進路.....	22
5-17 中途退学への対応.....	23
5-18 学生相談.....	24
5-19 学生生活.....	25
5-20 保護者との連携.....	27
5-21 卒業生・社会人.....	28
6-22 施設・設備等.....	30
6-23 学外実習・インターンシップ等.....	31

6-24 防災・安全管理.....	32
7-25 学生募集活動.....	34
7-26 入学選考.....	35
7-27 学納金.....	36
8-28 財務基盤.....	37
8-29 予算・収支計画.....	38
8-30 監査.....	39
8-31 財務情報の公開.....	40
9-32 関係法令・設置基準等の遵守.....	41
9-33 個人情報保護.....	42
9-34 学校評価.....	43
9-35 教育情報の公開.....	44
10-36 社会貢献・地域貢献.....	45
10-37 ボランティア活動.....	46

1-1 理念・目的・育成人材像

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向なら びに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	学校運営の基本的な考え方を示すもので、明確に定める必要があり、外部にも周知を行う	なし	基本ポリシーとして目的・教育目標・運営方針・取組姿勢を定めている	なし
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	関連企業のニーズを把握し、それに沿った育成人材像の構築を行い、明確に定める	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問、企業アンケート、卒業生アンケートなど定期的実施し改善に取り組む ・昨年度実施した早期退職者低減に向けた授業の改善に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車整備科・高度自動車科とも育成人材像を「育成ビジョンの中の【育成の考え方】」として定めている ・高度自動車科立上げ時(2006年)から育成人材像変更のニーズはないと考え、変更は行っていない ・関連企業のニーズについては、理事会、教育課程編成委員会、学校関係者評価員会にて把握に努めている 	現在、TMCとトヨタ三校でワーキンググループを作り企業ニーズに合致する教育内容の見直しを行っている

中項目総括

・理念(基本ポリシー)・目的・育成人材像はしっかり定められ、学内で定着している

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
当委員会や教育課程編成委員会などを通じて販売店ニーズの把握を行っておられるためその旨を「現状評価欄」に記載されてはどうか？	了解しました。
卒業生アンケートにて学校で学んだ学習のレベルが販売店のニーズに合っているか否かの質問事項を追加してはどうか？	了解しました。
早期退職者低減に向けた授業の改善に取り組むとあるが、退職理由は把握されているか？	退職理由については、販売店からのヒアリングと卒業生本人からのヒアリングを実施し把握している。

1-2 学校の特徴

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
1-2-1 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	トヨタ系企業への就職を軸に、即戦力となり得る人材育成に向け、充実した設備、教材、教育内容等を備える	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車創立校として、トヨタ車を教材とし、高難度診断機器の取り扱いやハイブリッド車対応等に取り組んでいる。また設備更新にも取り組んでいる ・ビジネス演習室、高度診断機GTS、HV・PHV・燃料電池車等を教材として配備 ・定期的に教員がトヨタ自動車の技術教育を受け、最新の修理技術を教育に織り込んでいる 	最新技術に関わる教材のタイムリーな導入

中項目総括

- ・トヨタ車を中心とした教育に取り組み、新技術の教育も積極的に取り入れている。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
TMC 主催の販売店向けの技術研修会に教員が参加されているため、その旨を「現状評価欄」に記載されてはどうか？また、研修の内容を授業内容へ織り込んで頂きたい。	了解しました。
トヨタ検定2級及び3級が取得できるので、「現状評価」欄に記載されてはどうか？	3-11の「資格・免許取得の指導体制」に記載している。

1-3 学校の将来構想

自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向なら びに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
1-3-1 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	中期的構想で、3～5年先における学校のあるべき姿を明確にしていく	なし	高度自動車科の創設以降は主に教育の充実に取り組んでいる ・新技術教育 (HV・PHV・FCV) ・制御理解を深めるための新シシダ付モータの導入	学生数減少の中、将来構想の企画立案(ショールームスタッフ科の新設など)

中項目総括

・時代の変化に沿った教育の充実に取り組んできたが、今後、学生数減少への対応も新たに考えていく。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

2-2 運営方針

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	教育活動、学校運営の根幹となる設立目的・教育目標とともに運営方針を定め、全教職員に周知、浸透を図る	なし	設立目的・教育目標とともに運営方針を定め、学内 HP に掲載する等全教職員に周知し、毎年教育活動、学校運営を行っている	なし

中項目総括

・理念（基本ポリシー）に沿った運営方針を定め、学内に定着させている。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

2-3 事業計画

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度事業計画を策定し、理事会・評議員会の承認を経て執行する。 ・事業計画を達成するために各部方針を定め、業務分担、目標等を明確にする" 	<ul style="list-style-type: none"> ・部方針の中間点検で進捗遅れの事項は再度スケジュールを明確化し期末に完遂させる ⇒10月の中間点検時に各部にて再スケジュール実施 ・部方針は各部とも3か年の目標を盛り込む。(単年で実施できない教育手法の見直し計画など) ⇒必要な項目については盛り込んでいる(教育部、総務部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の理事会・評議員会にて翌年度の事業計画を承認。5月の理事会・評議員会にて前年度の事業報告を承認。 ・事業計画に基づいて部方針を策定し、項目毎に主担当、スケジュール、達成目標を定めて推進している。 	なし

中項目総括

・毎年3月の理事会・評議員会にて翌年度の事業計画を承認。5月の理事会・評議員会にて前年度の事業報告を承認。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

2-4 運営組織

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	寄付行為に基づき理事会・評議員会を開催し、組織運営に関して適切に審議・承認を行い円滑に法人・学校の組織運営を行う。	なし	・寄付行為に基づき理事会・評議員会を年2回定期開催(3月:事業計画・予算、5月:事業報告・決算)し、さらに必要な場合は臨時開催している。	なし
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	業務分担、職制が明確な組織体制で円滑な学校運営を行う。	なし	校長の下に教育部・学生部・総務部の3部において学校運営を行っている。	急激な環境変化に対応できる組織の改正が必要

中項目総括

・校長の下に教育部・学生部・総務部の3部において適切に学校運営を行っているが、急激な環境変化に対応できる組織の改正が必要。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
2-4-2に「急激な環境変化に対応できる組織の改正が必要」と記載されているが具体的にはどのような事を想定されているのか?	<p>学生募集環境が変化しており、次年度は学生数が減少する見込みのため、今後何らかの取り組みが必要であることから記載した。</p> <p>低学力者が増加傾向にあったため、専任者を置き対応するようにした結果、退学率が減少した。環境変化は常におこっているため、変化に対して適宜対応できるように企画・実践を行える組織作りが必要である。</p>

2-5 人事・給与制度

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<ul style="list-style-type: none"> 人事・給与については就業規則・給与規則、それに沿った内規を定め運用する。 採用・人事考課・昇級・昇給については規則・内規に従って運用する。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> 就業規則・給与規則他規程を定め運用している。また、労働関係諸法令の改正対応も適宜行っている。 人事考課・昇級・昇給等人事制度は規則・内規に基づき毎年定期的実施している。 採用は中期的な要員計画に基づき、毎年1～2名の新卒採用(教員)活動を行っている。 	なし

中項目総括

- 人事・給与については就業規則・給与規則、それに沿った内規を定め運用している。
- 人事考課・昇級・昇給等人事制度は規則・内規に基づき毎年定期的実施している。
- 採用は中期的な要員計画に基づき、毎年1～2名の新卒採用(教員)活動を行っている。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
整備教育においては経験を伝えることが必要と考えるため、新卒だけではなく、実務経験者の中途採用を行う方が良いのではないかと？	<p>教員の中途採用の対象者はトヨタ販売店勤務の方になってしまうため販売店との関係上難しい。当校では毎年トヨタ販売店のエンジニアを4名程度出向教員として受け入れており、現場における技術・経験を伝えていただいている。</p> <p>中途採用を行っても、採用当初は最新の技術や経験として指導できるが、自動車の技術は日々進化しているため、いずれは古い技術になってしまう懸念がある。</p>

2-6 意思決定システム

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・意志決定の最高機関である理事会及び「権限移譲に関する規定」に基づき意思決定を行う。 ・寄付行為、りんぎ規定で基準を明確にする。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・2回/年定例の理事会を開催し事業計画・予算、事業報告・決算等の承認を得ており、必要な場合は随時開催している。また、「権限移譲に関する規定」に基づき意思決定を行っている。 ・寄付行為、りんぎ規定を定め運用している。 	なし

中項目総括

・2回/年理事会を開催し事業計画・予算、事業報告・決算等の承認を得ている。また、「権限移譲に関する規定」に基づき意思決定を行っている。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
教務会においてはどの程度教員の意見が反映されているのか？	教務会における審議事項の素案は担当教員が作成するため、教員の意見を反映した内容となっている。

2-7 情報システム化

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	各業務のシステム化は業務効率化を目的に費用対効果を考えて実施する。	なし	・学籍管理システムを中心に成績・出欠管理及び就職管理・入試が連動するシステムを導入しており、業務効率化を図っている。	なし
2-7-2 情報システムのセキュリティ対策を行っているか	・システムセキュリティーポリシー・マニュアルを定め対策を行う。また、職員に対して遵守を徹底する。	—	・システムセキュリティーポリシー・マニュアルを策定し、アクセス制限・バックアップの実施・ウイルス対策等の対策を行っている。	環境変化に応じたマニュアルの改定が不十分である。

中項目総括

- ・学籍管理システムを中心に成績・出欠管理及び就職管理・入試が連動するシステムを導入しており、業務効率化を図っている。
- ・セキュリティー対策については、環境変化に応じたマニュアルの改定が不十分である。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

3-8 目標の設定

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育目標に基づき、自動車整備科（2年間）・高度自動車科（4年間）共に教育課程の編成方針・実施方針を定める	なし	自動車整備科（2年間）・高度自動車科（4年間）共に、育成ビジョンの中の【目標人材像】を編成方針として、教育課程を編成している	なし
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	自動車整備科（2年間）・高度自動車科（4年間）共に修業年限に応じた到達レベルを明確に定める	なし	各学科の到達レベルは、 自動車整備科 国家2級整備士レベルの知識、 トヨタ検定3級レベルの技術力 高度自動車科 国家1級整備士レベルの知識、 トヨタ検定2級レベルの技術力 としている	なし

中項目総括

- ・自動車整備科（2年間）・高度自動車科（4年間）共に、育成ビジョンの中の【目標人材像】を編成方針として、教育課程を編成している。
- ・各学科とも到達レベルを明確にしている。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
TMC 主催の「もっといい学校教育検討会」において検討されている教育内容・修得レベルも必要に応じて目標設定に反映していただきたい。	了解しました。
成績のよい学生が就職後に良い人材とは限らないので、成績偏重の目標にならないようにして頂きたい。	了解しました。
就職後にトヨタ検定 3 級程度作業ができるか否かの確認を行うが、作業の目的までは理解されていないと思う。	到達レベルの一つとしてトヨタ検定 3 級を設定しているが、トヨタ検定 3 級レベルの技術・知識が身についているか否かは確認できていないため、次年度からはトヨタ検定 3 級の内容をまとめて試験を行う。 作業や測定の目的を繰り返ししっかりと教えていく必要がある。

3-9 教育方法・評価等

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育目標の達成に向け、時代時代の学生の変化に対応できる教育課程を編成する	なし	各学科で定めた教育到達レベルだけでなく、社会のニーズや時代変化を踏まえ、毎年度見直し編成している	なし
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	「入学してくる学生変化」「就職する社会環境の変化」に柔軟に対応するため、定期的に外部の意見を聴取し、教育課程の改善に取り組む	外部意見として次のものがある ・電気授業の強化 ・作業修得の向上 ・最新技術（燃料電池車や運転支援システム）への対応 ⇒電気回路理解の底上げとして昨年に引き続き、成績不振者の個別指導を実施 作業修得としては、2年次授業に新型外部診断器（GTS）を12台導入し、取扱いを修得 最新技術については、両学科とも燃料電池車および運転支援システムの授業を後期実施予定	理事会・評議員会、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会での外部の意見を反映させている	継続的に外部の意見を反映していく

3-9-3 キャリア教育を実施しているか	自動車業界・販売会社の役割の理解に加え、職業人になるという自覚や態度を涵養し、学んだ専門知識や技術を実際の職場で生かすためのコミュニケーションや問題解決などの能力を育成する	自動車整備科では、一般教養科目の見直しの中で職業教育の見直しも行う 高度自動車科では、各学年での職業教育プランの検証が必要 ⇒自整科2年で、早期退職防止授業として「自己成長と対人関係」(4h)を実施 高度自動車科では、プランに沿った職業教育により、退学者の減少が確認できた	・自動車整備科は、1年次に「就職内定に向けた取組み」、2年次に「社会人に向けた取組み」を実施 ・高度自動車科は、1年次に「4年生からの講話」、2年次に「卒業生からの講話」「販売店でのエンジニア体験」、3年次に「職種理解授業の充実」を実施 ・販売会社での「インターンシップ」は、両科とも実施	引き続き、自動車整備科の職業教育の見直しを行っている
3-9-4 授業評価を実施しているか	学生アンケートを定期的に行い、授業及び教員指導の改善をはかり、環境変化に柔軟に対応できるようになる	学生アンケートが授業改善につながるよう、単年のみならず過去からの推移の比較を行う ⇒アンケート集計の際、過年度との比較を複数年で行うようにしている	・学生アンケートを2回/年実施 授業評価に対する改善案を具体的に策定し、行動に繋げられるよう評価シートを改訂	各教員が自己の弱点を改善できるよう、評価シートを用いた改善活動を継続的に実施予定

中項目総括

- ・各学科の教育到達レベルだけでなく、社会のニーズや時代変化を踏まえ、教育課程を毎年度見直し編成している。近年は早期退職防止の教育を充実させている。
- ・学生アンケートを2回/年実施し、授業評価に対する改善案を教員ごとに策定し、授業改善に努めている。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
ハイブリッド・TSSなど最新技術を授業に反映していただきたい。 また、販売店での修理実績を授業内容に反映するなどしていただきたい	了解しました。
新入社員のGTSの修得度が低い。GTSの教育をきちんと行うには12台では少ないと思う。	車両またはベンチエンジン1台につきGTS1台を用意しているので台数は問題ないが、GTSが使いこなせるようになるまで反復学習できていないため、今後対応していきたい。

3-10 成績評価・単位認定等

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	「履修成績評価基準」「修了判定要領」「成績評価(ランク)」についての基準を明確化し、適切に運用する	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は「修得試験結果および平常点」で行っている ・修了認定は「全科目の修得試験に合格していること」を学則に明記し、認定会議で決定している 	なし
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	在校生のコンテストや発表会における成果を把握し、教育内容・方法の改善に繋げる	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・高度自動車科3年生の検証授業、4年生の研究演習では成果物を校内で発表しているが、順位付けや外部への披露は行っていない ・トヨタ三校プリウスカップにて高燃費となる運転の技術と整備技術を競っている 	学外への発表やコンテストへの参加不足

中項目総括

・成績評価、修了認定とも明確な基準のもと、適切に運用している。ただし、在学生のコンテストや発表会については不十分。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
4年生の研究演習授業の発表は校内だけでなく販売店など外部の方も招いて実施すると学生にとって貴重な経験となると思うので検討を願いたい。	了解しました。
作動等の指導においては書面ではなく口頭で質問する授業を行っていただきたい。	了解しました。

3-11 資格・免許取得の指導体制

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づける	なし	各学科とも以下の資格取得の授業を教育課程に組み込み実施 <自動車整備科> 国家2級自動車整備士 トヨタ技術検定3級 低圧電気取扱い者 <高度自動車科> 国家1級自動車整備士 トヨタ技術検定2級 トヨタエスティメーション検定3級 トヨタ業務認定D級 ビジ初能力検定2級 文章能力検定準2級 漢字能力検定準2級	なし
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	各資格の教育において、指導要領を備え、十分な知識・スキルを持った教員が担当できている	なし	各資格とも、有資格者もしくはそれに相当する知識を持った教員が指導要領を作成し、指導を担当している	トヨタ検定3級資格は、実際の試験に準じた形態になっておらず、実施方法の検討が必要

中項目総括

- ・各学科とも目標とする資格を教育課程に組み込み実施している。
- ・また指導体制としては、有資格者もしくはそれに相当する知識を持った教員が指導要領を作成し指導を担当している。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

3-12 教員・教員組織

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	一種養成施設指定基準の教員要件を満足している教員が授業実施	なし	学校採用教員およびトヨタ販売店からの出向教員により、必要人員数およびその資格を満足している	なし
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員としてふさわしい知識・技能・技術・教養の向上ができるよう定期的な研修を行うと同時に自己啓発に取り組む	教員の国家1級資格取得推進のため、取得に向けた勉強会等の支援が必要 ⇒昨年度受験の1名に対しては、学科・実習とも支援を行い、国家1級資格を取得 教員個々の授業力向上のため教員間の授業見学（楽楽会）活動の推進を行う ⇒今年度は入社5年以内の教員に先輩教員が授業見学・アドバイスをし、授業力の向上を図っている	・新技術理解のため、トヨタ自動車技術講習を受講し、全教員に展開 ・学生指導力向上のための研修等も継続的に実施 ・教員個人との期首面談時に、自己啓発の取り組み計画を確認しながら進めている	引き続き、今年度も教員の国家1級資格取得推進のための支援を行うとともに、支援内容をマニュアルとして蓄積していく
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員組織において、業務分担や責任体制は規程等で明確にしている。	なし	学科ごとの室および企画室を設け、教育実務とサポートを組織的に行っている。 各室における業務分担は各室業務分担表にて明確に定めている。責任体制については、職位に応じた決裁基準を設けている。	教員育成の観点からの定期的な人事ローテーションを行う

中項目総括

- ・学校採用教員およびトヨタ販売店からの出向教員により、一種養成施設指定基準で示される要件を満足している。
- ・新技術理解のための技術講習、学生指導力向上のための研修等を継続的に実施している。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
法令上の義務ではないが、女性活躍推進法に関する現状等についてお聞かせいただきたい。	過去 22 名総合職を採用した内 6 名が女性であるが、勤続年数が男性に比べて著しく低い。女性総合職にとって将来ビジョンが描けない職場なのではないかと思う。今年度も女性を 1 名採用し、次年度も 1 名採用予定なのでしっかりと対応していきたい。

4-13 就職率

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職率 100%に向け、学生への就職活動支援を充実させる	・就職未内定者が自動車整備科に1名いる。 ⇒入社試験不合格を繰り返し、就職意欲が低下した。学生本人および保護者からは「卒業後に就職先を探す」との意向で、就職内定100%未達成。	就職率100%達成に向け、以下の内容に取り組んでいる。 ①就職対策講座の実施 ②企業採用担当者による講演実施 ③夏休み企業訪問の推進 ④企業研究セミナーの催行による就職先研究 ・高度自動車科では職業理解として2年次に卒業生講演、3年次に関連企業による授業を実施 ・1年担任による就職面談を強化し、学生の志望状況の把握および、就職先選択へのアドバイスを実施。 ・留学生に関しても希望に沿った就職支援ができています。	就職率 100%は達成できていない。

中項目総括

- ・就職率 100%に向け、就職対策講座、企業採用担当者による講演、夏休み企業訪問の推進、企業研究セミナーの催行 等を実施している。
- ・1年担任による就職面談を強化し、学生の志望状況の把握および、就職先選択へのアドバイスを実施している。
- ・就職適正の低い学生に対して、学生の適正に応じた就職先指導を行っていく。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

4-14 資格・免許の取得率

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	自動車整備士国家資格をはじめとして、業界の社会人として必要な資格を取得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・1級整備士資格の取得率が100%を達成できていない。 ⇒新技術、環境・安全、法令分野の新規問題に対応できるよう取り組みを実施し、取得率は向上したものの100%は達成できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度自動車科、自動車整備科とも資格試験の分析や学生の修得状況の把握分析ができるよう、資格取得支援計画を策定している。 ・国家資格に関して、2級は取得率100%であるものの、1級は100%に至っていない。 ・国家1級登録試験対策の改善に取り組み中。 ・その他資格については以下を除き100%の取得率を達成できている。 <p><平成27年度取得率></p> <ul style="list-style-type: none"> ビジ初能力検定2級 92.8% 文章能力検定準2級 85.2% 漢字能力検定準2級 59.6% 	<ul style="list-style-type: none"> ・1級整備士資格の取得率が100%を達成できていない。 ・ビジ初能力系、国語力系資格の取得率向上を図る。

中項目総括

・業界の社会人として必要な資格は教育課程に盛り込んで取得させているが、一部取得率100%に至っていないものがある。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
エンジニアは漢字が弱い傾向が見られるため、学校においても対策をお願いしたい。	高度科では漢字能力検定準2級と文章能力検定準2級を受験することになっているが、自整科は就職対策の一環として漢字能力検定3級レベルのプリント学習のみで、検定試験の受験は行っていない。今後は資格取得も強化策の1つとして検討していきたい。

4-15 卒業生の社会的評価

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の頑張りや、昇進・昇格情報を在校生にフィードバックし、学生指導に活かす。また、当校の教育の至らない点などは教育改善に反映させる。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年に卒業生アンケートで役職調査を実施。 ・教育課程編成委員会や学校評価委員会の学外委員より卒業生の評価を確認している。 ・卒業生の技術コンクール出場等の活躍事例を在校生に紹介している。 	創立24年経過しており、今後は昇進・昇格情報の収集を継続的に行う。

中項目総括

・卒業生アンケートでの役職調査や教育課程編成委員会、学校評価委員会で卒業生の評価を把握しているが、計画的な昇進・昇格情報の収集は仕組みとして確立できていない。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
卒業生の活躍状況の調査に加え、卒業生から学生への講話などを企画していただきたい。	高度科では卒業生からの講話を実施しているが、自整科では行っていないので今後検討していきたい。
卒業生アンケートはどの程度の頻度で実施されているのか？役職就任状況の調査に留まっているのか？	現時点では在籍調査と役職就任調査を1回実施した。今後も継続的に実施するために方法と時期を検討していきたい。

5-16 就職等進路

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生の適性に応じた就職先に就職できるよう、学生の就職活動を支援・指導する体制を整える	就職後の早期退職削減のための教育・支援体制の充実を図る ⇒【自整科2年】 早期退職防止授業として「自己成長と対人関係」(4h)を実施	・就職活動に不安を感じる学生に対しては、管理職による個別指導体制をとっている。 ・未内定学生には、次の進路情報を迅速に展開し、提案、指導を行っている	・就職適正の低い学生に対する就職指導が十分にできていない。 (H27年度卒業生1名未就職、H28年度卒業生現状2名未内定)

中項目総括

・就職等進路に関する体制をしっかりと整えており、就職活動に不安を感じる学生に対しては、管理職による個別指導も行っている。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

5-17 中途退学への対応

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
5-17-1 退学率の低減が図られているか	入学した学生は責任を持って教育し、全員の卒業を目指す。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・成績不振による脱落者減少に向け、1、2年生の4科目以上不合格を繰り返す学生は、電装、工学に絞って個別勉強会の実施と弱みを分析し個別指導。 ・高度自動車科では、将来ビジョン確立のために職業教育を充実。 <ul style="list-style-type: none"> 1年次：企業研究センターへの参加 2年次：卒業生OB講演、販売店での職業体験授業 3年次：メーカー・実験評価・販売店の10社に依頼し、職業理解授業を実施している。 ・保護者会において、教育活動の取り組みや安易に退学させない旨を説明し、保護者に対し協力を呼び掛けている。 ・保健室と連携を取り、メンタル的に問題を抱えている学生に対して学校全体で対応している。 	なし

中項目総括

・成績不振者への対応、将来ビジョン確立のために職業教育、保健室と連携などにより退学者の低減に努めており、近年成果が出てきている。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
1年生の退学率が増加していると思うが理由を伺いたい。	今年度の退学率は昨年度と比較すると約1%程度の増加見込み。但し、平成26年度までは10名超の退学者がいたが、昨年度は7名、今年度も10名未満の見込みのため問題ないと考えている。

5-18 学生相談

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担任が学生の相談・指導を実施する。また、学生の心のケアに関しては、教員以外に気軽に悩みなどを相談できる体制を整える。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・担任が学生に対して個別に相談・指導を行っている。 ・心のケアに関しては担任以外の相談窓口として保健室及び相談室（カウンセラー（臨床心理士））を設置している。 	なし
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生が入学した場合でも相談ができる体制を整えておく。	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生受入体制のノウハウを蓄積する必要がある。 ⇒販売店就職の斡旋に関してはノウハウが蓄積できた。 	留学生に対する特別な体制はなく、通常の学生相談対応の範囲で行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・成績不振など特別配慮が必要な留学生に対する指導は不十分となっている。

中項目総括

- ・担任が個別に相談・指導を行うほか、相談窓口として保健室及び相談室（カウンセラー（臨床心理士））を設置し心のケアを行っている。
- ・成績不振など特別配慮が必要な留学生に対する指導は不十分

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

5-19 学生生活

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学生・寮生の負担を軽減する措置を講じる。また、就学が困難となった場合においても学業継続できるように個別対応を行う。	現状の奨学金制度以外にも新たな学費・寮費の支援制度を検討する必要がある ⇒未実施	<ul style="list-style-type: none"> ・当校独自の奨学金制度（学費一部減免等）を実施。 ・必要な場合は学費・寮費の延納・分納の個別対応を行っている。さらに、延納分納期日までに支払えない学生に対しては延長や一部卒業後の返済も認めている。 ・震災被災者に対しても学費減免措置等を講じている。 	現状の奨学金制度以外にも新たな学費・寮費の支援制度を検討する必要がある
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校保健安全法に基づき学生の健康管理を行う。	なし	保健室に学校医・看護師、相談室にカウンセラーを配置している。定期健康診断の他、心身の健康管理についての対応を適宜学生に行っている。	なし
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	遠隔地から就学してくる学生のために学生寮を設置する。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・432室（含む女子7室）の寮を学校敷地内に設置。（期首：男子寮は満室） ・寮監が常駐・宿直勤務しており快適な寮生活ができる体制を整えている。 	なし
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	学生が主体的に活動できるようクラブ活動を支援する。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・開校以来クラブ事務局を置き、クラブ活動を支援（補助金、顧問）している。 ・H27年度に水泳同好会、自転車同好会が部に昇格し、H28年度のクラブ数は15で推移している。 	クラブ活動が活発とはいえない。

中項目総括

- ・当校独自の奨学金制度（学費一部減免等）を実施。また、震災等被災者に対しても学費減免措置等を講じている。
- ・必要な場合は学費・寮費の延納・分納の個別対応を行っているが、新たな支援制度の検討が必要である。
- ・432室（含む女子7室）の寮を学校敷地内に設置し、夜間も含め寮監を常駐させている。
- ・クラブ事務局を置き、クラブ活動を支援（補助金、顧問）している。
- ・H27年度に水泳同好会、自転車同好会が部に昇格し、H28年度のクラブ数は15で推移しているが、クラブ活動は活発とはいえない。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

5-20 保護者との連携

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	効果的な教育を展開するには保護者の支援が有効であり、保護者との連携を深める	他学年の保護者会実施など検討 ⇒現状、新入生向け保護者会の改善に留まる。(面接の待ち時間短縮、授業見学の充実など)	・保護者には期末に学生の成績表を送付している(2回/年) また、必要に応じて保護者には来校、書簡発送、電話相談を実施している。 ・平成27年度より新入生向け保護者会を実施している。	今年度の反省を踏まえ、保護者会の改善を行っていく

中項目総括

- ・保護者には定期的に成績表を送付(2回/年)すると共に、適宜保護者と連絡を取りながら問題解決を実施
- ・新入生向け保護者会を催行

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

5-21 卒業生・社会人

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	当校卒業後も卒業生に対し、必要な支援体制を整え、学校情報提供や支援を行う	国家試験不合格者の支援を行っているが、全員は合格できていない。 ⇒国家試験不合格者へは従来どおりの支援を継続。	同窓会を組織し、同窓会名簿の管理、学校新聞の配布を行い、卒業生との一体感を醸成している。 卒業生に対し、国家資格取得支援を行っている。 卒業生相談窓口を設置・案内し、卒業後の悩みごとを聞く体制を作った。	在校生も含めた卒業生相談窓口の周知を図る。 同窓会活動の活性化。
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人や就労学生に対して、学生の状況に沿った修学支援、学習支援を行う。	なし	販売店新人研修の受け入れは行っている。	なし

中項目総括

同窓会を組織し、同窓会名簿の管理、学校新聞の配布を行い、卒業生との一体感を醸成している。
また、卒業生に対し、国家資格取得支援を行っている。
卒業生相談窓口を設置・案内し、卒業後の悩みごとを聞く体制を作った。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
卒業生アンケートを早くから実施されており、卒業生相談窓口のホームページを開設するなど、卒業生が早期に悩み事を相談できる体制づくりに取り組んでおられます。今後も充実していただきたい。	了解しました。今年度卒業生から、登録していただいたメールアドレスに担任から定期的に近況報告を促すメールを配信し、卒業生がより早期に相談できる体制を強化していく予定です。
国家資格が不合格となった卒業生に対する支援はぜひ継続していただきたい。	了解しました。
販売店の新人を対象とした研修の受け入れは、現状 1 社のみとなっているが、他社に対して周知されているのでしょうか？今後、販売店の高卒採用が増える可能性があるため、今後の対応について伺いたい。	高卒採用者の 3 級取得支援として現在は 1 社受け入れている。受け入れ人数に限りがあるので、当校からは積極的に販売店に受け入れを PR していない。高卒採用を行っている数社から問い合わせがあったが、遠距離のため宿泊先の確保などが難しく実現していない。 今後、今以上に高卒採用者が増えてくる状況になれば、受け入れを考えていかなければならない。

6-22 施設・設備等

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	法令等の基準を遵守し、教育上の必要性に十分対応し、かつ、学生が快適に学習に専念できる環境を整備し、維持管理を行う。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令の設置基準に基づき施設・設備・教育用具をそろえ、施設・設備の計画的な更新、衛生管理も行っている。 ・教室・実習設備の拡充を図るため小講堂棟を増築。平成29年3月竣工予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の保守、更新が計画的に実施されておらず、未復元教材や老朽化した教材が存在する。補修部品の入手方法や費用を検討し、計画的に更新していく。

中項目総括

- ・建物設備は専修学校設置基準及び一種養成施設設置基準を満たしている。また、建物については、耐震基準を満たしており、建物の補修や設備等の更新も計画的に行っている。
- ・教材の保守、更新が計画的に実施されておらず、補修部品の入手方法や費用を検討し、計画的に更新していく。
- ・平成29年度から高度自動車科1年生を2クラス化することに伴い学科教室確保のため小講堂棟を増築。(平成29年3月竣工予定)

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

6-23 学外実習・インターンシップ等

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習等において、実習機関と連携を取り、十分な成果が上がるよう教育体制・環境を整備する	自動車整備科のインターンシップにて、継続して期間延長を依頼していく。 ⇒インターンシップ依頼書簡にて7日間以上の実施を依頼した。	・自動車整備科2年生は5～7日間、高度自動車科4年生は29日間以上のインターンシップ研修を実施している。 ・高度自動車科4年生は7日間の海外研修を実施している。	引き続き、自動車整備科のインターンシップにて、7日以上の上の受入れを依頼していく。

中項目総括

・学生の内定先企業において、教育課程に定めた期間のインターンシップを自動車整備科2年次および高度自動車科4年次に実施している。また、高度自動車科4年次には海外研修を実施している。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
TMC とトヨタ 3 校で開催している「もっといい学校教育検討会」にて4年生のインターンシップ中に作業させて欲しい項目の一覧表を作成している。実施後に実施できているか否かを確認していただきたい。	了解しました。
自動車整備科におけるインターンシップの評価の状況について伺いたい。	今年度より一般教養科目の一つとして評価しており、販売店からいただいた評価結果は学生本人にフィードバックしている、次年度からは、インターンシップは独立した科目として評価していきたい。

6-24 防災・安全管理

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ（前年度評価時）課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	法令に基づき体制を整備し、防火防災に努める。	・震災発生時に学生の帰宅・宿泊などの対応について具体的な検討とマニュアル化が必要。 →未実施	・防火・防災管理体制を整備し日常の管理を行っている。 ・職場防災隊を組織し、防災訓練を実施している。（H26より火災、地震各1回実施）	・震災発生時の対応について具体的な検討とマニュアル化が必要。
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	・学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備する。 ・安全管理者を選任、安全計画の作成・実施、安全衛生環境委員会の設置により、実習作業等における危険作業や事故・怪我の防止策を講じる。	なし	・不審者の侵入防止のため来校者は受付で入校許可証を交付し携行するよう定めている。また校内主要箇所に防犯カメラを設置している。 ・安全衛生環境委員会を1回/月開催し安全計画の実施進捗確認を行っている。 ・安全管理者による巡視を1回/月行っている。 ・ヒヤリハット案件については、発生都度安全管理者に報告し、再発防止策を講じている。	学校全体として、継続的に安全意識向上を図る活動をしていく。

中項目総括

- ・防火・防災管理体制を整備し日常の防火・防災管理を行っており、法令に基づき消防訓練及び防災訓練を各1回/年実施している。
- ・不審者の侵入防止のため来校者は受付で入校許可証を交付し携行するルールを定めている。また校内主要箇所に防犯カメラを設置している。
- ・安全管理者の選任、安全計画の作成・実施、安全衛生環境委員会の設置など、安全管理体制を整備している。授業内外の事故・怪我の発生、ヒヤリハット案件については発生都度報告・再発防止策を講じている。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
作業安全については多治見サービスセンターの安全考動学習館に体験設備がある。学校においても危険を体感できるような環境を整えていただきたい。また、販売店における整備ミスの事例なども情報を共有し学校の授業にも取り入れていただきたい。	多治見サービスセンターの内容を見学し、今年度より一部取り入れている。次年度も安全教育については実施項目を検討し充実していきたい。

7-25 学生募集活動

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	入学試験要項記載の応募資格を満たす対象者が在籍する教育機関に情報を開示、提供し、当校理解の促進を図る	・当校の特徴をよりわかりやすく表現した資料及びホームページに改訂 ⇒募集用リーフレット(三つ折り)の改訂を実施	・学校 H/P での学校案内、入試要項の公開 ・「学校案内」の高校配布(西日本) ・高校訪問活動にて情報提供 ・高校進学相談会参画 ・高校教員向け学校見学会(一部地域)	・よりわかりやすい資料及びホームページに改善
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	入学定員を満たすべく、学校活動の内容を紹介する機会(オープンキャンパス)等を通じ、事実に基づく広報活動を展開する。	・当校の教育の特徴がより伝わるような工夫が必要 ⇒オープンキャンパスでの授業、教員紹介を実施	・オープンキャンパス、体験入学、学校説明会、入試相談会の機会を通じ、事実に基づく広報活動を展開している	・入学定員未達を克服する活動の企画、展開

中項目総括

高校生、高校、保護者、企業というステークスホルダーに対し真摯に向き合い、適切かつ効果的な募集活動を展開し入学定員を満たす

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
少子化や整備士を目指す子どもの数が減っている中、中学生未満の子どもに対するイベントなどの充実が必要ではないか？	業界全体で取り組んでいくことが必要と考えている。当校独自の取り組みとしては、中学校や小学校からの見学や体験の依頼に対応している。販売店やメーカーで実施されるイベント等の取り組みについても協力していきたい。

7-26 入学選考

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準を規定で明確に定め、入学試験要項上に記載し適切に運用するか	・なし	・入学選考基準（編入学も含む）に基づき入学試験を適切に実施	・なし
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する実績情報を正確に管理し、入学後の授業運営や、財務計画策定等に反映する。	なし	・イベント動員数を指標に入学者数予測を実施 ・学科ごとの合格数、辞退数を管理しタイムリーに総務部へ反映 ・入学者の入試での成績をもとに教育部にて入学前フォローに活用	なし

中項目総括

明確な選考基準のもと、厳正に合否判定を実施している。また入学予測数を管理し財務、教育に反映している。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

7-27 学納金

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	他校の動向・相場及び学校全体収支を勘案し決定する 収入の範囲内で必要な教育が行えるように努力し少しでも学生の負担を軽減する。	なし	経費削減に取り組み学費・寮費及び預り金の低減努力を行っている。	なし
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	文部科学省通達に基づき適正に取扱う	なし	3月末までに辞退の申し出があった場合は入学金以外全額を返金している。	なし

中項目総括

- ・学費・寮費及び預り金は、他校の動向・相場を勘案して決定しているが、学校全体収支が適正になるよう更に効率化に努めて、学生負担の軽減に努める。
- ・入学辞退者に対しては文部科学省通達に基づき適正に対応できている。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

8-28 財務基盤

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	定員確保に努め、単年度収支黒字の維持に努める。 中長期的に必要な施設設備に必要な資金を留保する。 資金は安全確実な運用を行う	なし	・中長期的に必要なとなる施設設備に必要な資金は留保できており、社債等で運用している。 ・借入等負債はなし	なし
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	適切な財務運営を行うために、収支状況、財産目録、貸借対照表などについて、分析を行う	なし	・単年度教育活動収支が黒字となるように予算を立案・執行している。 ・毎月、月次決算で予算の執行状況・実績の対前年増減など主要な財務数値について適宜分析を行っている。	なし

中項目総括

- ・将来の設備投資・更新に必要な資金は留保できており、財務基盤は安定している。資産は安全確実な社債等で運用を行っている。
- ・主要な財務数値は月次決算で適宜分析を行っている。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

8-29 予算・収支計画

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	単年度ごとに事業計画・予算を立案する。	なし	・次年度事業計画と同時に部門別に年度予算案立案を行っている。 ・中期計画は、予定表を作成・更新し、これに基づき毎年事業計画・予算立案を行っている。	なし
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算は計画に従って執行する。 月次・中間決算により予算/実績の進捗を適正に管理する。	なし	予算計画に従って執行できている。予算外の場合が生じた場合は寄付行為・法令に従って適正に執行管理を行っている。	なし

中項目総括

- ・事業計画・予算は単年度ごとに立案している。
- ・中期計画は、予定表を作成・更新し、これに基づき毎年事業計画・予算立案を行っている。
- ・予算は計画に従って適正に執行できている。予算外の場合が生じた場合は寄付行為・法令に従って適正に執行管理を行っている。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

8-30 監査

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	監事及び公認会計士による監査を実施する	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・監事に中間・期末決算と事業報告を行い監査を受けている。 ・公認会計士による監査を1回／年実施している。 	さらに28年度は内部統制を目的としたTMCの自主点検活動を実施し、今後の改善につなげる。

中項目総括

- ・監事に中間・期末決算と事業報告を行い監査を受けている。
- ・公認会計士による監査を1回／年実施している。
- ・内部統制を目的としたTMCの自主点検活動を実施し、今後の改善につなげる。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

8-31 財務情報の公開

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	法令通りに対応し公開を行う。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・私立学校法に定める財務情報公開基準に基づき利害関係者が財務諸表を閲覧できる体制は整備している。 ・職業実践専門課程の認定要件の1つとして27年度より決算書を学校HPにて公開している。 	なし

中項目総括

- ・私立学校法の定める財務情報公開基準に基づき利害関係者が財務諸表を閲覧できる体制は整備している。
- ・職業実践専門課程の認定要件として決算書を学校HPにて公開している。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

9-32 関係法令・設置基準等の遵守

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	関係所轄、業界各団体・企業、高校、保護者等社会からの信頼を得るよう法令遵守を行う。教職員、学生に対し、法令遵守教育を実施し徹底する。	・学校法人会計基準改正への対応。 ⇒28年度実施中。	・各部署で関係法令に基づき必要な諸届等を実施・対応している。また各規定も整備し、法改正に合わせ適宜改定を行っている。 ・学生に対しては、「法令違反事例集」を用いて法令遵守教育を実施。また、教務会案件、交通安全、薬物、不正改造等機会ごとに教育を行っている。	遵守すべき法令等は各部署で把握・対応しているが、全校的にも確認できるようにしておく必要がある。 学生の交通事故防止に向けた対策を企画展開する必要がある。

中項目総括

- ・遵守すべき法令等は各部署で把握・対応しているが、全校的にも確認できるようにしておく必要がある。
- ・H27はマイナンバー法施行対応実施
- ・H28年度は学校法人会計基準改正への対応を実施している。
- ・学生に対しては、法令違反事例集を作成し、4月のオリエンテーションで教育を実施している。更に、機会あるごとに法令遵守教育（薬物、交通違反、不正改造等）を実施している。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
障害者の雇用の状況について伺いたい。	当校は1名以上の障害者雇用が義務付けられているが、今年度1名採用している。今後も職安等に相談しながら障害者雇用について引き続き検討していきたい。

9-33 個人情報保護

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報の漏洩は社会からの信用を失うことになるため、慎重に取り扱う必要がある。そのため規程を定め、適切に運用していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報目録及び業務ごとの「作業手順書」の見直し、定期的な研修ができていない。 ⇒H28年に管理職に対して個人情報保護に関する研修会を開催 ⇒各部にて個人情報目録のメンテナンスを実施中(3月末完了) ・マイナンバー法、個人情報保護に関するガイドライン改正への対応が必要。 ⇒H28実施済み 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護規定を策定し、外部に個人情報保護方針を公表している。 ・内部監査など一部規定通りに実施されていない。 ・マイナンバー制度対応のため別途規定を制定している。(平成28年1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・規定に定められた事項の確実な実施。 ⇒内部監査を実施する

中項目総括

- ・個人情報保護規定を策定し、外部に個人情報保護方針を公表しているが、内部監査など一部規程通りに実施されていないため改善を要する。
- ・マイナンバー制度対応のために平成28年1月に別途規程を制定している。

【学校関係者評価結果】

委員からの意見等	学校側コメント等
販売店と学生の個人情報の授受を行っているが、個人情報に関する取り決めが明確になっていない。どのように考えておられるのか？	第三者提供について学生本人の同意をとっており、販売店には採用以外の用途では使用しないように書簡で依頼している。今後は、各販売店と個別に覚書を交わすなど、他大学等の取り組みを参考に検討していきたい。
個人情報の取扱について「一部規定通り実施されていない」との評価だが具体的に伺いたい。	当校の規定で内部監査を実施するよう定められているが、ここ数年間実施していないので、次年度は実施するよう現在準備を進めている。

9-34 学校評価

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	実施に係る組織体制を整備し、文部科学省のガイドラインに則して、毎年度実施	なし	毎年度実施。	効率的な実施に向けた評価体制の見直しが必要である。
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	ホームページに掲載し公表する	なし	毎年度公表。	なし
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	委員会を設置して、毎年度実施	なし	毎年度実施。	なし
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	ホームページに掲載し公表する	なし	毎年度公表。	なし

中項目総括

- ・毎年、委員会を設置し自己点検自己評価・学校関係者評価を実施、結果は学校 HP にて公表している。
- ・自己点検自己評価はより効率的な実施に向けた見直しが必要である。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

9-35 教育情報の公開

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学生、保護者、関連業界等広く社会に教育情報を公開する。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内パンフレットや学校ホームページで学校概要、教育内容、教員等教育情報を公開している。 ・新入学生保護者向けに、教育方針、教育内容、担当教員などを記載した書簡を送付している。 ・平成27年度より情報公開や保護者への教育内容理解のため新入学生向け保護者会を実施。 ・自己点検自己評価、学校関係者評価の結果や学校運営情報をホームページで公開している。 	なし

中項目総括

- ・学校案内パンフレットや学校ホームページで学校概要、教育内容、教員等教育情報を公開している。
- ・保護者向けには、書簡や保護者会などでより細かな教育情報を提供している。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

10-36 社会貢献・地域貢献

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	社会・地域貢献の観点から可能な範囲で実施する	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・販売店技術コンクールの会場として実習場を貸し出している。 ・地域住民、近隣学校の体育授業にテニスコートを貸し出している。 ・H26年度より地域の少年野球チームにグラウンドを貸し出している。 ・近隣中学生のトライやるウィークを受け入れている。 ・学園祭においては地域の方も楽しんでいただけるようなイベントを企画し実施している。 	なし
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	留学生の入学を受け入れ、資格取得、就職を果たさせることで国際貢献する	対留学生向けの募集活動は少ない。 ⇒日本語学校での進学相談会にも参加	留学生を受け入れている。	増加する中国以外の国の留学生への対応

中項目総括

- ・販売店技術コンクールの会場として実習場を貸し出している。
- ・地域の住民、近隣学校にテニスコート・グラウンドの貸し出しを行っている。
- ・近隣中学生のトライやるウィークを受け入れている。
- ・留学生過去入学実績は少ないが、国内就職の実績も出来つつあり、ノウハウを蓄積して今後の増加に備える。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし

10-37 ボランティア活動

【自己点検・自己評価結果】

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ (前年度評価時)課題と解決方向 ならびに改善の取組内容	ウ 現状・具体的な取組等	エ 課題と解決方向
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	学生に社会性を育む教育の一環として、ボランティア活動を奨励していく。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内での献血活動（2回／年） ・地域清掃活動への参加（寮生） ・選択授業でボランティア活動実施 	なし

中項目総括

学生のボランティア活動を推奨し、献血活動や選択授業での震災復興ボランティアに参加している。また、寮生は地域清掃活動へ参加している。

【学校関係者評価結果】

特に意見なし